



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社fonfun

上場取引所 東

コード番号 2323 URL <https://www.fonfun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部部長 (氏名) 八田 修三

TEL 03-5365-1511

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	153	3.2	8	163.9	7	109.3	8	202.7
2020年3月期第1四半期	148	15.9	3		3		2	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 8百万円 (202.7%) 2020年3月期第1四半期 2百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	2.52	
2020年3月期第1四半期	0.99	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	888	537	60.5
2020年3月期	884	529	59.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 537百万円 2020年3月期 529百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえた合理的な算定が困難なことから未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	3,380,920 株	2020年3月期	3,380,920 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	44,581 株	2020年3月期	44,581 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	3,336,339 株	2020年3月期1Q	2,822,319 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
(開示の省略)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善により緩やかな景気回復基調で推移する一方で、自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大の影響による世界経済に及ぼす懸念が高まっており、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く環境に関しては、スマートフォンが市場の中心となり、業界再編が続いております。2020年3月末における携帯電話の契約数は1億8,480万件(前年同期比4.0%増 総務省発表資料による)であり、大幅な契約数増加が見込めないなか、総務省主導による政策の影響もあり、携帯電話端末の価格と通信料のバランスが変化してきています。主要通信キャリア以外の仮想移動体通信事業者(MVNO)の存在感も増し、一契約あたりの売上高(ARPU)は微減を続け、コンテンツビジネスにも影響を及ぼしております。主要携帯通信キャリアが主導してきたビジネスモデルは、今後も大きく変化していくことが予想されます。

また、連結子会社株式会社FunFusionにて提供していますSMSサービスにおいては、SMS配信サービスの認知度が向上し、SNSやスマートフォンアプリの利用時などの本人認証通知、公共料金・税金など督促の通知、飲食業界のノー・ショウ(飲食店における無断キャンセル)対策としての予約確認など企業と個人の間でのコミュニケーション手段として高い到達率と開封率というSMSの有用性を再認識する企業の増加に伴い、SMS配信市場は急速な広がりをみせており、2023年の市場規模は配信数31億8,000万通と予想され(「ミックITレポート 2019年9月号」(ミック経済研究所))、2018年度から2023年度までの年平均成長率は46.7%増で、国内法人市場は最低5年先まで安定高成長を続けると予想されております。

このような状況の中、当社グループは、「お客様の喜ぶことを皆と分かち合い、ともに喜ぶ」を経営理念として掲げ、お客様の生活をより豊かに便利にするツールを提供できるよう当社の既存事業の収益を維持しつつ、新たなサービスの企画・提供を実施してまいりました。

当社グループの各セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ① リモートメール事業

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは、「リモートメール」の個人版サービス・法人版サービスともに成長市場であるスマートフォン市場での拡販に努め、既存利用者の利用継続を第一目的に、他社サービスに対して優位性のある使い勝手のよさをさらに向上させる改善を継続して実施しております。

さらに、法人向けサービスとして開発した「リモートブラウザ」、「リモートカタログ」や他社から提供を受けている「リモート・ビュー(AnyClutch Remote)」、「リモート名刺(BizCompass)」など、リモートメール以外のスマートデバイス向けサービスの販売も強化しております。「リモートメール」法人版サービス、「リモートブラウザ」、「リモート・ビュー(AnyClutch Remote)」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、テレワーク支援ソリューションとして、期間限定で無償提供し、テレワークに対応する企業・自治体等をBCP対策の側面から支援する活動サービスを積極的に展開しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は57百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益は17百万円(前年同期比25.9%減)となりました。

#### ② SMS事業

SMS事業はショートメッセージを利用した通知サービスであり、「らくらくナンバー」、「いけいけナンバー」、「いけいけナンバーAPI」と3つのサービスがあります。当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、新規のお客様の獲得のための営業活動は、計画通り行えませんでした。導入企業と同業種への事例紹介や、既存のお客様からのご紹介により、新規獲得件数は好調に推移しております。

また、2018年3月に提供を始めたSMSを利用したアンケート収集システム「アンケートつなぐ君」も導入企業を増やしており、売上に寄与しております。

上記の結果、SMS事業の売上高は50百万円(前年同期比22.2%増)、営業利益21百万円(前年同期比54.2%増)となりました。

## ③ メディア事業

メディア事業は、2018年3月に譲受けた事業であり、ウェブコンテンツ提供に伴うアフィリエイト広告収入を主な収益としております。

メディア事業の売上高は15百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益5百万円(前年同期比25.9%増)となりました。

## ④ ボイスメール事業

ボイスメール事業は、2019年12月に譲受けた事業であり、スマートフォンアプリを利用して音声情報をメールのようにやり取りできる法人向けのサービスであります。

ボイスメール事業の売上高は22百万円(前期なし)、営業利益6百万円(前期なし)となりました。

## ⑤ その他

その他の売上は、主にシステム保守によるものであり、売上高は7百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益1百万円(前年同期比41.0%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高153百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益8百万円(前年同期比163.9%増)、経常利益7百万円(前年同期比109.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益8百万円(前年同期比202.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は888百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少2百万円、売掛金の増加1百万円、のれんの減少10百万円、その他の増加11百万円等であります。

負債の部は350百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少しております。主な要因は、長期借入金の減少16百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少3百万円、短期借入金の減少1百万円、未払法人税等の減少11百万円、その他の増加29百万円等であります。

純資産は537百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円の増加となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない中で、都市部を中心に緊急事態宣言時の経済活動の低下が著しく、宣言解除後の経済活動の回復についても、見通しが立てられない状況にあります。

この状況の中、従業員の安全を確保するために一部の職種を除いて出社をとりやめ、全社的にテレワークにて営業を続けております。Web会議を利用してお客様とコンタクトをとりながら、新規のお客様の獲得・既存のお客様へのサポート等を継続し、各事業セグメントごとの従来の方針に沿って活動を続けております。

リモートメール事業においては、既存のお客様を維持しながら、サービス内容を拡充し新規契約の獲得とクロスセルを目指してまいります。

SMS事業においては、既存のお客様のうち送信数が多い業種に絞って新規獲得のための施策を継続してまいります。

メディア事業においては、既存のお取引先様と緊密に連携をとりながら、売上の維持を目指します。

ボイスメール事業においては、事業譲受後におけるPMIを進めつつ、販売代理店との関係強化に努めます。

当社が提供しているサービスのうち、リモートメール事業には、リモートビューやリモートブラウザなど、緊急事態宣言が出されたのちに急速に広まったテレワーク環境に親和性の高いものがあり、需要が高まっております。しかしながら、これらのサービスは、緊急事態宣言により社員の出社が難しくなってお困りのお客様へ一時的に無償提供しており、業績への寄与は限定的と考えております。

また、2019年12月に株式会社武蔵野から事業を譲受けたボイスメール事業につきましては、売上高及び利益の向上に寄与するものと考えております。

当社としましては、新型コロナウイルス感染症が終息した後もテレワークは定着すると見込んでおり、業績向上

の要因にはなりえると考えております。しかしながら、すでに一部のソフトウェア開発の受託案件で、お客様より期日未定で発注延期を申し入れされるなど影響も出始めており、今後、予想される日本経済の低迷が当社にも影響を及ぼすものと見られ、低迷期の底の深さ、長さについては未知数であり、当社グループ事業への影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから、未定としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	493,940	491,221
売掛金	100,924	102,855
短期貸付金	382	382
その他	25,010	29,376
貸倒引当金	△185	△185
流動資産合計	620,073	623,650
固定資産		
有形固定資産	9,870	8,797
無形固定資産		
のれん	237,169	226,595
商標権	1,532	1,477
ソフトウェア	3,663	3,207
無形固定資産合計	242,365	231,279
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,000
長期未収入金	781,046	780,716
その他	5,442	18,283
貸倒引当金	△781,046	△780,716
投資その他の資産合計	10,442	23,283
固定資産合計	262,677	263,361
繰延資産		
株式交付費	1,483	1,346
繰延資産合計	1,483	1,346
資産合計	884,234	888,358

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,170	15,211
短期借入金	41,664	40,413
1年内返済予定の長期借入金	72,844	69,544
未払金	16,009	15,899
未払法人税等	17,034	5,349
賞与引当金	1,061	—
その他	10,365	39,779
流動負債合計	174,150	186,197
固定負債		
長期借入金	161,783	145,022
退職給付に係る負債	19,113	19,535
固定負債合計	180,896	164,557
負債合計	355,047	350,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,391,985	2,391,985
資本剰余金	785,941	785,941
利益剰余金	△2,474,318	△2,465,901
自己株式	△174,421	△174,421
株主資本合計	529,187	537,604
純資産合計	529,187	537,604
負債純資産合計	884,234	888,358

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	148,919	153,641
売上原価	53,923	47,139
売上総利益	94,996	106,501
販売費及び一般管理費	91,661	97,703
営業利益	3,334	8,798
営業外収益		
受取利息	29	9
受取配当金	0	0
助成金収入	950	—
貸倒引当金戻入額	450	330
その他	600	80
営業外収益合計	2,030	419
営業外費用		
支払利息	1,100	1,268
株式交付費償却	—	136
支払保証料	61	165
解約手数料	537	—
その他	10	—
営業外費用合計	1,710	1,570
経常利益	3,653	7,647
税金等調整前四半期純利益	3,653	7,647
法人税、住民税及び事業税	706	237
法人税等調整額	167	△1,007
法人税等合計	873	△769
四半期純利益	2,780	8,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,780	8,416

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	2,780	8,416
四半期包括利益	2,780	8,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,780	8,416
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第1四半期決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。